

令和2年度事業報告書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

1 事業の成果

令和2年度は、コロナ禍で振り回された1年であったが、路面電車駅前乗入れ、県庁通り1車線化などラクダが26年前の設立当時から取り組んできた岡山市の事業は着工するところまでできた。吉備線LRT化、路面電車環状化もさらに具体化が進んだ。コロナ禍で市議会の傍聴は減ったが、同時中継の傍聴を行い、市議会議員などとの情報交換にも務めた。毎月の京橋朝市の出前公聴会は五回中断したが、瓦版はほぼ継続し、カラー化してネット印刷に移行し、市民啓発に努めた。

岡山のバス路線を巡る諸問題をきっかけに国も動いて、地域公共交通活性化再生法の改正や独禁法の運用変更が実現した。2月の瓦版では「瀬戸大橋線」R西市駅からバスがあればもっと便利に！」など岡山市の公共交通の組み換え議論を開始し、岡山市パブコメにも提案、また山陽新聞のシンポジウムにも参加して岡山でのネットワークも拡大することが出来た。一昨年の「備讃瀬戸アクセスマップ」の展開として、2月には瀬戸内市の地元の方々とも協働して、瀬戸内市長などにもご参加いただいて「瀬戸内交通シンポジウム」を開催、インバウンド消滅の代替ともなるバスで巡る吉備の古墳のコンテンツも提案した。

コロナ禍でかろうじて維持されてきた全国各地の公共交通は危機的状況に陥り、3月20日の富山LRT直通運転開通時に「富山・高岡宣言」の起草を行って危機感の共有を全国に呼びかけた。これを契機に停止していたラクダ定例会を全国ネットワークの仲間にも開放してZoom会議を開始し、4月17日には全国路面電車ネットワーク48団体緊急アピールを発表。JCOMMやくらしの足全国フォーラムと連携して、公共交通危機情報の収集、「交通崩壊の危機」の訴えかけ、国や国会、各自治体への呼びかけ、事業者への励ましなど様々なロビー活動、広報活動を展開した。大都市圏以外の全国の公共交通事業者へ年間2000億円程度の支援が必要との観点に立って活動を展開した。

この間全国Zoom会議は39回開催し、大学教授、国会議員から市民団体学生までのべ594名が参加し、11月20日には全国路面電車NW51団体とコロナ後の提言書を記者会見し岡山市にも提出した。またRACDAホームページをほぼ毎日更新し、全国路面電車ネットワークページを開設、コロナ禍の公共交通事業者影響調査、公的経済支援状況調査などを行って日々更新し、アクセス数は倍増して最大400人がアクセスした。特に全国729自治体が319億円以上もの公共交通支援に乗り出したのが判明した事で、今後の展開にわずかながら貢献できたのではないだろうか。

前年の全国バスマップサミット岡山以後の展開としては、バス情報のオープンデータ化を岡山県にも呼びかけ、秋には自治体を集めた講習会に展開した。若手中心の「デジタルバスマップ合宿」「20代が拓くバスマップ新時代」セッションを継承して、毎週のZoom会議の前半はバスマップ情報交換会とした。後半の全国路面電車ネットワーク会議と比べて平均年齢は半分ほどで、相互の交流はいい刺激になった。また様々なZoom会議は我々交通情報関係ネットワークにとっては大きなインパクトがあり、「RACDA25周年記念・バスマップZoom会議」にも全国37名の参加があった。

毎年の路面電車祭り、鉄道記念日イベントは中止せざるをえなかった。

収益事業である夏期間のビアガー電、秋からのワイン電車はコロナ禍の影響で、特に密な空間を演出する特徴から、2月の日本酒電車の1回実施のみで、以後中止せざるをえなかった。毎年の収益事業として、家賃支払いなどにも充てていたもので、会の運営にも重要な影響が出ている。幸い持続化給付金を貰うことが出来たが、コロナ禍の完全な終息以外に解決できない。

会員数は実活動の低下も影響して、80名に留まったが、Zoom会議の活性化は時代の変化を表している。活動全体はむしろコロナを契機に深まり、広がったと言えるのではないかと。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出金額 (千円)
公共の交通を充実させるための、公共交通をツールとしたまちづくり、公共交通の拡充・活性化、自転車の有効利用の推進、公共の交通に関する調査、企画、調整、仲介等の諸事業	JR 吉備線 LRT 化推進事業	通年	JR 吉備線沿線を主とする岡山、総社市内	300名	JR 吉備線沿線住民を主とする岡山・総社市民など不特定多数	0
	路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	通年	岡山市内	50名	岡山市民、路面電車利用者など不特定多数	0
	吉備線路面電車直通推進事業	通年	岡山市、JR 吉備線沿線	30名	JR 吉備線沿線住民、岡山市民など不特定多数	0
	バスマップ作成配布事業	通年	岡山市・倉敷市	200名	岡山・倉敷市民、バス利用者など不特定多数	0
	バス停アダプト事業（バス停留所環境整備）	通年	岡山県全域	2名	岡山県民全般など不特定多数	0
	バス活性化プラン作成事業	次年度完成を目途に 通年	RACDA 事務局を中心に岡山県全域	400名	岡山県民全般など不特定多数	75
	市民向け公共交通活性化・交通井戸端会	通年	岡山市を中心に岡山県全域	500名	岡山県民全般など不特定多数	51

	議 「路面電車の 日」実施事業	6/8	岡山市内路 面電車沿線	0名	岡山市民全般など不特 定多数	0
	ワイン電車 (車内でワイ ン等を提供す る路面電車の 運行)・ピアガ ー電(車内で 生ビール等を 提供する路面 電車の運行) 等実施事業	通年	岡山市内路 面電車沿線	30名	岡山市民全般など不特 定多数	145
	自転車有効利 用推進事業 (交通手段と しての自転車 の活性化、有 効利用を推進 する事業)	通年	岡山県全域	20名	岡山県民一般など不特 定多数	0
	各地路面電車 地方鉄道存 続・電車等保 存運動支援事 業	随時	全国の該当 地域	594名	該当地域住民など不特 定多数	449
地球温暖化防止 に関する諸事業	岡山地区移動 発生源温暖化 ガス減ロード マップ立案作 成事業	通年	RACDA 事 務局を主に 岡山市内	10名	岡山県民全般など不特 定多数	0

令和2年度 活動計算書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

特定非営利活動法人 公共の交通ラクダ (NPO法人RACDA)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	239,000	
賛助会員受取会費	262,000	501,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	99,000	99,000
3 受取助成金等		
受取補助金	1,335,020	1,335,020
4 事業収入		
バスマップ販売収入	0	
ワイン電車・ピアガー電事業収入	134,000	
委託事業収入	0	
広告協賛金収入	40,000	
印税販売収入	9,300	183,300
5 その他収入		
利息収入	0	
その他雑収入	1	1
経常収益計		2,118,321
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	572,750	
人件費計	572,750	
(2) その他経費		
JR吉備線LRT化推進事業	0	
路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	0	
吉備線路面電車直通推進事業	0	
バスマップ作成配布事業	0	
バス停留所アダプト事業	0	
バス活性化プラン作成事業 (バスマップサミット)	13,750	
公共交通講座事業 (備讃瀬戸アクセスマップ)	0	
ワイン電車・ピアガー電等実施事業	95,154	
路面電車の日実施事業	0	
自転車有効利用推進事業	0	
各地路面電車地方鉄道存続・電車等保存運動支援事業	38,319	
岡山地区移動発生源温暖化ガス削減ロードマップ立案作成事業	0	
その他経費計	147,223	
事業費計		719,973
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	120,000	
給料手当	0	
人件費計	120,000	
(2) その他経費		
事務所費	122,340	
会議費	19,882	
印刷費	87,466	
通信費	158,157	
旅費交通費	53,434	
消耗品費	46,738	
雑費	139,060	
その他経費計	627,077	
管理費計		747,077
経常費用計		1,467,050
当期経常増減額		651,271
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		651,271
法人税、住民税、及び事業税		71,000
当期正味財産増減額		580,271
前期繰越正味財産額		-1,034,099
次期繰越正味財産額		-453,828

令和2年度 貸借対照表
 令和2年12月31日現在
 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ
 (単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金		
手元現金	23,233	
中国銀行普通預金	419,611	
中国銀行普通預金	328	
郵便為替	3,000	
貯蔵品	0	
流動資産合計		446,172
2.固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
パソコン1台	評価せず	
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		446172
II 負債の部		
1.流動負債		
短期借入金	900,000	
未払金		
ワイン電車関係	0	
地代家賃等	0	
流動負債合計		900000
2.固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		900000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		-1,034,099
当期正味財産増減額		580,271
正味財産合計		-453,828
負債及び正味財産合計		446,172

令和2年度 活動報告書
 人件費部分の計算書

Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当			
人件費計			
(2)その他経費			
JR吉備線LRT化推進事業	人件費	0	
路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	人件費	0	
吉備線路面電車直通推進事業	人件費	0	
バスマップ作成配布事業	人件費	0	
バス停留所アダプト事業	人件費	0	
バス活性化プラン作成事業(バスマップサミット)	人件費	61000	
公共交通講座事業(備讃瀬戸アクセスマップ)	人件費	51000	
ワイン電車・ピアガー電等実施事業	人件費	49750	
路面電車の日実施事業	人件費		
自転車有効利用推進事業	人件費	0	
各地路面電車地方鉄道存続・電車等保存運動支援事業	人件費	411000	
岡山地区移動発生源温暖化ガス削減ロードマップ立案作成事業	人件費	0	

ワイン電車ビアガー電収支

令和2年度

売上高	134,000	134,000		未払金
期首棚卸高	0		軌内食箱	
原材料費仕入高	95,154			
固電チャーター代		23,400		
弁当代		31,000	EXカフェ他	
酒代		26,384	多田博光商店他	
飲料など		2,040		
資材代など		12,330	チラシ含む	
労務費	49,750			
外注費	0			
原価償却費	0			
期末棚卸高	0		軌内食箱	
売上原価	144,904			
売上総利益	10,000			
販売管理費	195,000			
役員報酬		0		
従業員給料		0		
交際費		0		
減価償却費		0		
地代家賃		120,000	禁酒会館月1万円	
企画		0		
電話代負担		1,000	月1000円負担	
交通費負担		1,000	1回*1000円	
ガソリン代負担		2,000	1月*2000円	
その他経費		71,000	事業所税	
当期営業損益	-205,904			

令和2年度 財産目録
 令和2年12月31日現在
 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ
 (単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金		
手元現金	23,233	
中国銀行普通預金	419,611	
中国銀行普通預金	328	
郵便為替	3,000	
貯蔵品	0	
流動資産合計		446,172
2.固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
パソコン1台	評価せず	
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		446172
II 負債の部		
1.流動負債		
短期借入金	900,000	
未払金		
ワイン電車関係	0	
地代家賃等	0	
流動負債合計		900000
2.固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		900000
正味財産		-453828

令和2年度役員名簿

令和2年1月1日～令和2年12月31日
特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

No.	役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	岡 将男		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	有
2	理事 副会長	加藤 俊明		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無
3	理事	金谷 啓紀		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無
4	理事	岡本恵美子		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無
5	理事	山下 千草		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無
6	理事	宗田 繁		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無
7	理事	市川 三好		令和2年1月1日 ～令和2年3月28日	無
8	理事	野沢 祐介		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無
9	理事	堀脇 正信		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無
10	監事	建部 拓		令和2年1月1日 ～令和2年12月31日	無